

## 「食味重視！の米づくり」を目指して 健苗育成と適量施肥で土台固め！

### 1. 温度管理に注意！がっちり苗に仕上げましょう

【気象庁1か月予報：気温：4/23～29 平年より高い80%、4/30～5/4 平年並み50%】  
今週前半は気温が高い予報です。気温の高い日は、早めにハウスの開放、被覆資材等の除去を行いましょう。

【育苗期間の温度管理】

	昼間	夜間	注意点
緑化期 (出芽後 2～3日)	25℃	10℃	○外気温 25℃以上の日は苗ヤケ注意！ 早めにハウスを開ける。遮光資材を使う。 ○低温時には保温に努める。
緑化期以降	20～25℃	8℃以上	○霜が予想される場合は、早めにハウスを閉める。

- かん水は午前中に1回が基本です。夕方からのかん水は根張り不良となるため避けましよう。
- プール育苗では1.5葉期から入水します(床土の高さ)。2葉期以降は常時湛水し、箱上1cm程度の水深とします。苗が伸びやすくなるため、ハウスを開放して管理しましよう。
- 田植え前1週間は霜が降りない限り、夜間も外気に慣らすようにしましよう。

### 2. 食味重視の施肥を徹底しましよう

○過剰施肥は生育後半に窒素の遅効きを招き、食味を低下させる危険があります。一度入れたものは、取り除けません。品種ごとの施肥基準(下表)を確認し、適量の施肥を行いましよう。

**※基肥一発肥料を使用する場合は、品種ごとの「基肥+追肥」の基準施用量を超えないよう注意！**

○ケイ酸資材は①根の活力維持、②登熟能力の向上、③いもち病抵抗性向上の効果が期待できます。土壌pHの改善にも有効です。積極的に施用をおこないましよう！

【施用のめやす】ケイカル 100～120 kg/10a、ようりん 30 kg/10a

○耕深 15cm を目標に耕起を行いましよう。根張り向上による土壌養分の供給力増加や、登熟不良・品質低下軽減が期待できます。作土深を確保するため、トラクターの耕起スピードが速くなりすぎないように注意しましよう！

表 品種別の基肥量(窒素量)の目安

品種名	はえぬき	つや姫	雪若丸	コシヒカリ	ひとめぼれ	あきたこまち
窒素成分量 (kg/10a)	5～6	3～4	4～5	3～4	4～5	5～6



## STOP！農作業事故！

～春季運動強化期間中～